



大自然で笑顔が溢れる
農業に触れてみませんか？



— 故郷で「農業」もありませんよ！ —

農業

やってみませんか？

MINAMATA
・
TSUNAGI
・
ASHIKITA

芦北地方農業振興協議会

(事務局)TEL.0966-82-5194

熊本県芦北地域振興局 農業普及・振興課内

info@ashinoushinkyou.jp

<http://ashinoushinkyou.jp/>

ふるさと 故郷「地元」の良さ

故郷での暮らしは、都会と比べて不便で、おしゃれでもありません。それでも、故郷である「地元」での生活を選択する人はたくさんいます。

都会は職場での激しい競争、むずかしい人間関係、全国を飛び回る転勤など、「あわただしい」ように感じます。

故郷には気心が知れた友人や親身になってくれる人がたくさんいます。自分が育ったところなら、不安になる要素は少ないと思います。

また、水俣・芦北地域は子育てなど生活面のバックアップが非常に充実しています。

故郷での生活は「のんびりしていて、あたたかい」そんな感じがします。



水俣・芦北の農業

水俣・芦北地域では、水田が少なく、山の傾斜地を利用した柑橘類※1が広く栽培されており、甘夏やデコポン、極早生※2玉ねぎ、太秋柿※3、お茶、肉用牛（あしきた牛）が全国有数のブランド品目です。

その中でも主力の柑橘類は、15年くらい前まで価格が低迷し、後継者※4が少なくなり、栽培面積はピーク時の半分以下になっています。このままの状態では20年後には現在の半分（ピーク時の1/4）と予測されており、故郷の特産物である甘夏やデコポンが完全に衰退してしまう可能性があります。

しかし、柑橘類の販売単価は、近年、高値で安定しており、正しい技術や知識を身につけて作れば、安定した収入が望めます。

他の品目も、生活していくには十分な収入が得られます。

農業を始めたいなら

水俣・芦北地域には、県、市町、JAあしきた※5などが連携した「芦北地方農業振興協議会」という組織があり、農業経験のあるなしに関わらず農業を始めたい人をバックアップしています。

実家が農家であれば、親から学びながら農業の技術を習得できます。しかし実家が農家でない場合や農家であっても自分が作りたい品目が異なる場合、まず農業の栽培技術を習得しなければなりません。



水俣・芦北地域では、JAあしきたの研修制度があり、先輩農家や技術者※6の指導のもと、実践研修※7が受講できます。

農業を始めるには栽培する農地や農業用機械などが必要になるため、農業をやめる方から譲りうける支援をしています。

また、研修中や就農後しばらく国からの給付金※8を受けられ、栽培方法などもアドバイスしていますので、安心して農業を始められます。



今でなくても

故郷で農業をやってみようかなと思ったら、いつでも最寄りの市町の農業担当課や熊本県芦北地域振興局内の農業普及・振興課、JAあしきたなどに相談してください。あなたにピッタリな農業と一緒に考えていきましょう。

若いみなさんは希望に満ちあふれています。何かやりたいことがあれば、その夢に向かって頑張ってください。途中で道に迷ったり、故郷が恋しくなったら、いつでも故郷の農業はあなたを待っています。

※1 柑橘類(かんきつ類): 柑橘は甘夏やデコポン、ミカンなどの総称。

※2 極早生(ごくわせ): 早生は早く成熟すること、極早生はもっと早い。

通常の玉ねぎは5月以降に収穫されるが、冬があたたかい水俣・芦北地域では極早生の玉ねぎを生産している。

※3 太秋柿(たいしゅうがき): 「太秋」は柿の品種名。大玉の甘柿で10月下旬ごろからおいしく食べられる。

「サクサク」とした食感が人気。

※4 後継者(こうけいしゃ): 一般には跡継ぎのこと。ここでは農業の後継者を指している。

※5 JA(ジェーエー): 農協(農業協同組合)。

※6 技術者(ぎじゅつしゃ): 農業に関する知識や技術を持っている人。

※7 実践研修(じっせんけんしゅう): 先輩農家のところで一緒に作業をして作業を習ったり、技術者などから教えてもらう研修。

※8 給付金(きゅうふきん): 新しく農業を始める若者を応援する国の制度。





家族との時間をしっかり取れて、「頑張った分返ってくる」仕事が農業です。世の中にはたくさん仕事がありますが、一度農業という選択肢も考えてみてください！

山本 章太さん

Q1 現在の経営内容を教えてください。

A1.施設※1と露地※2の不知火※3を栽培しています。面積は施設が20a、露地が50aで、スプリンクラー※4などを利用して作業をやすくし、収穫やビニールを張る時以外は一人でを行っています。1年半JAの農業研修を経て、(2020年)11月に就農※5しました。この園地は元々80歳代の方が作っていましたが、高齢になられたので僕が引き継ぐことになりました。今は全量をJAへ出荷していますが、いずれは消費者への直売もしたいと考えています。



Q2 就農の動機を教えてください。

A2.前職は夜が遅く通勤も多い職場だったので、子供が生まれた時に転職を考えました。職種は色々考えてはみたのですが、なかなかピンとくるものがなくて…。そんな時に、就農相談会があることを知り、参加しました。そこで「これなら!」と思い、就農を決意しました。

Q3 柑橘※6農家の魅力は何ですか。

A3.野菜は種まきから収穫まで一度きりで終わりますが、柑橘類はずっと同じ樹と付き合っていくことで愛着がわくんじやないかと思いました。それに、他の作物より趣味に使える時間を確保できるのではないかとも思いました。また、芦北地域はデコポンの産地でブランドが確立していて、価格が安定しているのも魅力です。

Q4 将来の夢を教えてください。

A4.法人化※7し新規就農者を受入れ、芦北地域を盛り上げることで農業者になりたいです。そのためにも園地を拡げ、収量を増やし、法人化できるくらいの収入を得るのが目標です。

新規就農者の紹介

Q1 現在の経営内容を教えてください。

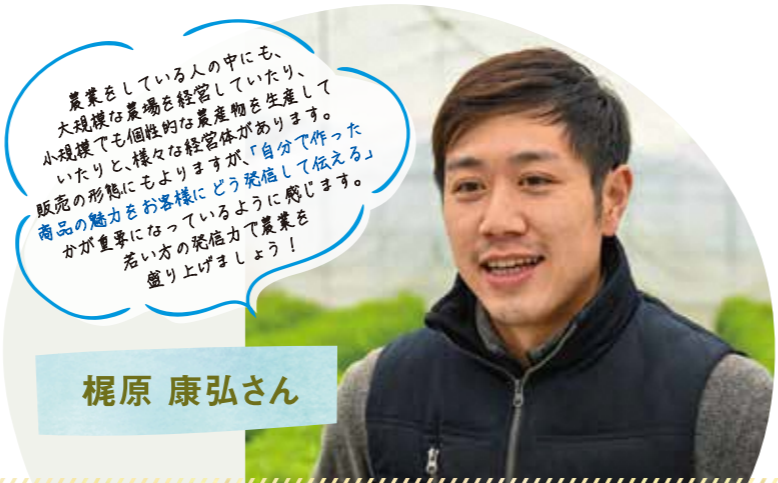
A1.主に大葉※8とお米を栽培しています。大葉は5aの周年栽培※9、お米も5a作っています。大葉は地域の魚屋やスーパーへ販売しているほか、冷凍食品用の材料として食品加工業者へも販売しています。

Q2 就農の動機を教えてください。

A2.家業がお茶農家ということもあり、大学は農学部へ進みました。大学では大きな農場を見学する機会が多く、実家付近には広い農地がほとんどないため、大きな農場経営を実現することは難しいと思っていました。卒業後は県内の農業法人※10へ就職し、就職先では農場はもちろんのこと、直売所も運営をしていました。また、色々な農家の方々の「規模拡大はしなくてもより良い農業経営はできる」という話を聞くことができました。「これならできる!」と思い、両親の年齢も考え、このタイミングで一緒にやることがチャンスだと思って、帰郷し、就農しました。

Q3 将来の夢を教えてください。

A3.店頭で販売されている野菜は、誰が育てたのか分からないことがほとんどです。だから、「自分の名前前で販売していきたい」と考えています。やがては日本、いや世界でわが家の野菜やお茶を販売し、そのお店を巡る家族旅行をするのが夢の一つです。農業は重労働であることや茶加工場の老朽化など、問題はたくさんありますが、両親がコツコツと販路を拡げ、わが家のお茶のファンだと言ってくれる方々のためにも、この茶園を守り続けていきたいと思っています。そして、いつかは小さくても居心地の良いカフェスペースを作り、お茶やお菓子でおもてなしができる、そんな場所を作りたいと思っています。



農業をしている人の中にも、大規模な農場を経営していたり、小規模でも個性的な産物を生産していたりと、様々な経営体があります。販売の形態にもよりますが、「自分で作った商品の魅力をお客様にどう発信して伝えるか」が重要になっているように感じます。若い方の発信力で農業を盛り上げましょう!

梶原 康弘さん



酪農は「楽しみ」がいっぱい詰まったお仕事です!

大無田 美穂さん

Q1 現在の経営内容を教えてください。

A1.牛乳を出荷しています。作業の内容は搾乳※11、餌やり、子牛への哺乳※12、餌づくり、牛の寝床の掃除を行い、その合間に種付け※13なども行います。もともと経営をされていた方に手伝ってもらうこともありますが、毎日ほぼ一人でを行っています。

Q2 就農の動機を教えてください。

A2.きっかけは搾乳のアルバイトをしていたことです。球磨地方で8年間働いていたのですが、アルバイト先が廃業された際に、今の牧場を紹介していただきました。しかし、経営されていた方が高齢になられたことで、今は私が引き継いでいます。ずっと酪農の仕事に携わってきて、この仕事が好きで体が動くうちはやっていきたいと思っています。

Q3 酪農家の魅力は何ですか。

A3.酪農は搾乳だけのイメージを持たれることもありますが、どうしたら良いお乳が取れるのか、どうしたら良い牛を生ませることができるかなど、種付けが重要で試行錯誤しています。それがまた楽しいんです。また、経営を考えるとあまりしない方が良いと言われている育成※14も、私は楽しみにしています。最近、ホルスタイン※15のメスの赤ちゃんが2年ぶりに生まれ、とてもうれしいです。

Q4 将来の夢を教えてください。

A4.酪農を続けていく、それだけです。もともと経営されていた方が電気も水道もないところから始められた場所なので、どうしても失くしたくありません。ずっと続けていきたいと思っています。

※1 施設:ビニールハウスなどの農業用施設。
 ※2 露地:ハウスなどの特別な施設を使わず、屋外の畑で栽培する方法。
 ※3 不知火:「デコポン」の一般名。不知火のうち一定の品質基準をクリアしたものが「デコポン」というブランド名で販売されている。
 ※4 スプリンクラー:労力をあまりかけずに水をまく装置。
 ※5 就農:農業という職業に就くこと。
 ※6 柑橘:うんしゅうみかんや甘夏、不知火などの総称。
 ※7 法人化:農業経営を家族経営から会社組織にすること。
 ※8 大葉:青じそ、刺身のつまや薬味などに使う。
 ※9 周年栽培:1年中収穫、出荷をする栽培方法。
 ※10 農業法人:農畜産物を作ったり、販売している会社。
 ※11 搾乳:乳牛から乳をしぼる作業。
 ※12 哺乳:子牛に乳を飲ませる作業。
 ※13 種付け:乳が出る状態にするためには妊娠をさせなければなりません。そのために人工授精のこと。
 ※14 育成:成牛(親牛)にするために子牛を育てること。
 ※15 ホルスタイン:牛の品種名(種類)。日本の乳牛(乳をしぼって出荷する目的の牛)の主力。
 ※16 無加温不知火:ビニールハウスによる施設栽培の不知火で暖房機を使わない栽培。

Q1 現在の経営内容を教えてください。

A1.不知火、サラダたまねぎ、ぎんなんを作っています。面積は露地栽培の不知火が50a、無加温不知火※16が6a、ぎんなんが150a、サラダたまねぎが23aです。不知火とぎんなんは祖父から引き継いだものになりますが、サラダたまねぎは就農してから作り始めました。

Q2 就農の動機を教えてください。

A2.前職は高校教師をしていたのですが、5年間勤めた後、他のことをやってみたいと思い退職しました。1年くらいは外国へ行くなどして、やりたいことや仕事を探したりしていました。もともとは祖父が経営していた農業の手伝いをしていましたが、高齢になってきたこともあり、私が継ぐことに決めました。

Q3 不知火・ぎんなん・たまねぎ農家の魅力は何ですか。

A3.私が作っている作物は、他の野菜などと比べて、段取り次第では自分の時間が確保できると思います。その時間で趣味のサッカーをすることもでき、両立できるのも魅力です。

Q4 将来の夢を教えてください。

A4.自分で作ったものを販売まで行いたいです。直接販売すれば、「美味しかったよ!」とほめていただいたり、逆にアドバイスをいただいたりすることができ、その後のモチベーションにつながります。誰が作っているのか分からないまま、また、誰に食べてもらっているのか分からないままでは、食べ物を作っている意味があるのかなと疑問に思っています。すでにオリジナルの段ボールや化粧箱も作り、インターネット販売なども始めていて、徐々に拡がってきているところです。



将来こうなりたい!など、夢を持つことはとても大切だと思います。しかし、そればかりに縛られるのではなく、「色々な事にチャレンジし、経験を積んで、たくさんの人に会えば、様々なチャンスがめぐってきて、違った将来が見えてくる」かもれません。その結果、みなさんの中から一緒に農業を盛り上げてくれる方がいれば最高です!

林田 直也さん



今、農業が面白い

芦北高校 農業科

「栽培・製造・販売から学ぶ豊かな人間力」

農業科といっても、畑を耕しているばかりではありません。栽培実習の他にも、食品の製造や加工実習などを学びます。更に実際に販売を学ぶ授業などもあり、将来の選択肢が広がります。

地域の文化伝承や課題解決に関する取り組み (プロジェクト学習)

農業科では地域の伝統文化の継承に関する研究(わらびの栽培や加工品の開発)や商品開発(ほうじ茶シフォンケーキ)など、地域と連携した活動に力を入れています。学校だけではなく農業科は地域が学び場です。



取得できる主な資格

- 危険物取扱者(乙種、丙種)
- 小型車両建設機械運転講習
- 刈払機取扱作業員労働安全衛生教育
- ボイラー取扱技能講習
- 食品衛生責任者
- 食生活アドバイザー2級3級
- 日本農業技術検定
- ビジネス文書・表計算検定
- 室内園芸装飾3級など



未来の為に、環境を育む!

芦北高校 林業科

「地域と共に森を育て、川と海を育む」

林業科では、森林・林業・環境について、体験的な学習を通して知識・技術を身につけるとともに、色々な課題にチャレンジし、日本の森林・林業と国土を守る人材を育成します。

各種公務員への合格実績

- 令和2年度 公務員1次試験結果
- 国家公務員(林野庁職員) 12人
 - 都道府県(林業職) 9人
 - 市町村役所4人 他、熊本県警1、鹿児島県警1
- 全国トップレベルの合格率 国立大学にも合格!!
- 令和元年度 鹿児島大学、宮崎大学
 - 平成30年度 鹿児島大学、宮崎大学、琉球大学

取得できる主な資格

- 測量士補
- 危険物取扱者(乙種、丙種)
- 小型車両建設機械運転講習
- 刈払機取扱作業員労働安全衛生教育
- ボイラー取扱技能講習
- 食品衛生責任者
- 食生活アドバイザー2級3級
- 日本農業技術検定
- ビジネス文書・表計算検定など

熊本県立農業大学校・教育10のポイント

(所在地:合志市)

教養科目の充実

基礎学力養成から四年制大学編入対策まで豊富な選択肢を用意しました。卒業生には専門士(農業)の称号が付与されます。四年制大学への編入が可能です。

複合経営を見据えた専門科目の充実

米、麦、大豆+露地野菜の選択を可能にするなど、他コース専門科目の選択が可能になり複合経営を見据えた科目選択ができるようになりました!また、第一線で活躍する農家などから話を聞くアグリビジネス講座を充実させました。

農業用ドローン実習を本格的に導入



農業法人を担う人材を育成

農業法人と連携して、水稻や露地野菜の研修をカリキュラム化し農業法人の中核となる人材を育成するカリキュラムを充実させました。

農家派遣研修

1年次は本校同窓会の「耕志会」の農家の皆様のお宅で、2年次は県下各地域の先導農家の方々や農業経営を行う法人で研修を行い、経営理念や最新の栽培技術を学びます。



海外農業研修(オーストラリア研修)

海外農業研修でファームステイや大規模農場等視察を通して、グローバルな農業を学びます。



充実した実習(施設の充実、機械、農産加工)

野菜は2人で1棟、花きは1人1棟のハウスを担当し、校内で大型特殊・けん引(農耕車)の免許が取得できるなど、充実した施設を用意しています。6次産業化を見据えて食品加工の実習も充実しています。

新技術の修得

GAPやスマート農業等、新たな農業技術が学べます。また、農業高校と連携して「農高・農大一貫プロジェクト」に取り組み、高校から同じ作物を継続的に作付できることで「高い技術力」を習得できる仕組みを作っています。

全寮制による教育

寮生活では規則正しい生活を身に付け、学生相互の親睦を深めることができます。はじめは不安だった学生もすぐに慣れ、寮生活や学食を満喫しています。

安い学費

農大の学費は入学金5,690円、授業料は2年間で237,600円です。その他海外研修費の30万円、寮・学習経費、後援会・同窓会費、被服・教科書代、寮での食費がかかりますが、これらの費用に授業料を加えた2年間の経費の総額は約150万円と見込まれます。日本学生支援機構の奨学金や卒業後農業をすることを前提とした給付型の事業もあります。